



令和7年度予算案

重点事業の骨子



令和7年2月21日
北海道幕別町



活気に満ちた産業のまちづくり

902, 234 千円

- ▶ 地域経済を支える農業の振興 680, 824 千円
- ▶ 活力ある商工業の推進 221, 410 千円



暮らしやすいまちづくり

1, 187, 074 千円

- ▶ 定住施策の充実 838, 084 千円
- ▶ 子どもを産み育てられる環境の充実 220, 913 千円
- ▶ いつまでも健康で生きいき高齢者福祉の充実 128, 077 千円



安心・安全なまちづくり

1, 705, 063 千円

- ▶ 町民の生命と財産を守るまちづくり 1, 660, 974 千円
- ▶ 持続可能な行財政の確立 44, 089 千円



元気な教育・文化・スポーツのまちづくり

1, 743, 923 千円

- ▶ 次代を担う子どもの育成 177, 647 千円
- ▶ 豊かな心を育む文化・スポーツの振興 3, 663 千円
- ▶ 歴史的文化の保存と伝承 1, 562, 613 千円



活気に満ちた産業のまちづくり

地域経済を支える農業の振興

【予算額：680,824千円】

1 ふるさと土づくり支援事業補助金 H8~ **拡充** 15,000千円

農業の生産性向上と収量確保に欠かせない、堆肥の購入・切返しや土壌診断を積極的に支援することで、良質な土づくりを促進

(令和7年度から制度内容を改正)

- ▶ 堆肥切返し機械利用料補助
(上限額：1経営体当たり10万円)
 - ▶ 堆肥購入補助
(上限額：1経営体購入量上限5t、補助額上限10万円)
 - ・ 町内、町外産の区別を撤廃し単価を30%に統一
 - ・ 新規メニューの土壌診断の実施が必須
 - ▶ 土壌診断経費補助(上限額：1経営体当たり2万円)
 - ・ 事業費の1/2以内補助
- ※ 緑肥種子購入補助は廃止



2 農業ゆとりみらい総合資金貸付金 H7~ 30,000千円

農業の振興と農村地域の活性化を図るため、農業者の創意工夫と農業経営の安定に必要な資金を貸付(無利子又は低利)

3 忠類地区道営草地整備事業 R2~R7 16,000千円

粗飼料の自給率向上や飼料生産コストの低減に努め、ゆとりある酪農畜産経営の確立と優れた担い手を育成

4 幕別地区公社営草地整備事業 R4~R7 31,531千円

草地の排水不良や経年劣化による生産性の低下を改善し、良質粗飼料の確保及び飼料自給率の向上を図り、飼料費コスト低減により安定した酪農畜産経営の確立を図る

5 農用地排水改善対策事業補助金 H14~ 6,500千円

小規模暗渠の整備に要する経費の4分の1を補助(上限額：15万円)

6 忠類第一幹線明渠整備工事 R4~R8 255,000 千円

忠類市街地の中心部を流れ、当縁川にそそぐ明渠（忠類第一幹線明渠排水路）を更新、整備することで施設の長寿命化を図る

- ▶ 令和6年度：明渠改修工事 122m
- ▶ 令和7年度：明渠改修工事 510m

7 道営水利施設等保全高度化事業負担金 257,154 千円

（※令和6年度補正繰越分：175,854千円含む）

農道・畑地かんがい・区画整理等の整備により農業機械の高度利用による省力化の促進・生産の増加等農業経営の安定を図る

- ▶ 軍豊第2地区 事業期間：平成28年度～令和7年度
- ▶ 糠内第3地区 事業期間：平成29年度～令和9年度
- ▶ 明倫新和地区 事業期間：令和3年度～令和11年度
- ▶ 西幕別3地区 事業期間：令和4年度～令和14年度
- ▶ 中里美川地区 事業期間：令和5年度～令和15年度
- ▶ 駒島第2地区 事業期間：令和6年度～令和16年度

※ パワーアップ事業分（町補助）分：25,622千円

道と町がパワーアップ事業でそれぞれ3%、国が促進費として6.5%を負担することにより、農家負担を20%から7.5%に軽減

8 忠類第2地区公社営草地整備事業 R7~R10 29,620 千円

草地の排水不良や経年劣化による生産性の低下を改善し、良質粗飼料の確保及び飼料自給率の向上を図り、飼料費コスト低減により安定した酪農畜産経営の確立を図る

- ▶ 忠類第2地区 草地整備改良：62.10ha

9 肉用牛遺伝的能力評価支援事業補助金 R2~ 525 千円

家畜飼養管理技術の向上及び改良を図るため、繁殖雌牛からさらに能力の高い繁殖牛群の選抜・造成に取り組む活動として、当該年に産まれた肉用雌牛及び保留のために導入する雌牛に対して、遺伝的能力評価（ゲノム評価）を実施した場合に補助金を交付

- ▶ 遺伝子検査に要した経費の4分の1を補助（上限額：1頭当たり3,500円）

10 後継牛確保対策事業 H28~ 2,800 千円

自家繁殖の育成牛の増頭及び優秀な後継牛の確保を効率的に行うために、未経産の24箇月齢以下の牛を対象に雌雄判別精液助成事業補助金を交付

11 優良和牛生産基盤強化事業 R6~ 3,600 千円

体格、発育に優れた黒毛和種の繁殖雌牛を保留し、優良な系統牛を確保することで経済性の高い和牛の生産を図るため、体格得点81.5点以上の繁殖雌牛の保留に対して補助金を交付

(R9・全国和牛能力共進会北海道大会に向けた支援策)

- ▶ 1頭当たり20千円を補助

12 有害鳥獣被害対策事業補助金 H23~ 408 千円

ゆとりみらい21推進協議会の有害鳥獣被害対策事業に対する補助

- ▶ 狩猟免許予備講習補助、狩猟免許手数料助成など

13 鳥獣被害防止緊急捕獲対策事業補助金 H25~ 18,145 千円

拡充

エゾシカ、キツネ、カラス、ハト、アライグマなど有害鳥獣捕獲に対する補助

- ▶ 令和7年度から「熊」を補助対象に追加

14 民有林経営管理委託料 (森林環境譲与税基金活用事業) R4~ 3,126 千円

森林整備が進んでいない森林所有者に対し、適正な経営管理が行われるよう整備計画作成の働きかけや指導・助言等を実施し、適切な民有林の管理を推進

- ▶ 町または森林組合に管理を委託する意向のある所有者に対して、ドローン空撮調査により現況を確認し、今後の管理経費や伐採収益等に係るシミュレーションを行い、現況を踏まえた施業計画の指導・助言を実施

15 私有林森林整備環境保全事業補助金 (森林環境譲与税基金活用事業) R3~ 9,000 千円

森林の維持管理に係る所有者の自己負担を軽減し、適切な森林整備を推進するため、除間伐、下刈り、枝打ちに要する経費の一部を補助

16 森の輪(wakko)製作委託料 (森林環境譲与税基金活用事業) R2~ 325 千円

町有林の間伐材を利用し、乳児から遊べるドーナツ型の木製玩具「森の輪(wakko)」を製作し、乳幼児健診時に配布

17 林業人材育成・担い手確保対策事業 (森林環境譲与税基金活用事業) R6~ 105 千円

林業の人材育成、担い手確保を目的に林業新規就業者に対し、伐採業務に必要な刈払機やチェーンソーに係る資格取得経費を補助

- ▶ 補助上限 刈払機：15千円 チェンソー：20千円

4 地域おこし協力隊活動推進事業 H30～

拡充

24,791 千円

町外の人材を招致し、商工業や観光の振興に関する活動、地域の情報発信に関する活動等を通じて、地域の活性化を図ることを目的に導入

- ▶ 令和7年度は町全域で3名を配置予定
- ・ 令和6年度に創設したインターン制度（最大6名）を活用し、最大3か月間のインターン期間を通じてマッチングを行い、その後、地域おこし協力隊員として活動する意欲のある人材を雇用
- ・ ふるさと寄附事業に精通する地域おこし協力隊員を配置し、ふるさと寄附の返礼品開拓やふるさと寄附の拡大を目指す



5 忠類地域魅力発信事業 H27～

1,400 千円

忠類地域の交流人口の拡大や地域経済の活性化を図ることを目的とした実行委員会内に、2つの部会「イベント部会」、「花と環境部会」を設置し、忠類地域の魅力を地域内外に発信する事業を実施

6 観光物産協会補助金

13,497 千円

まくべつ夏フェスタ、まくべつ産業まつり、忠類ふるさと盆踊り大会、忠類どんとこいむら祭り、忠類ナウマン全道そり大会等のイベント及び物産展等の開催に対する補助

7 特産品研究開発事業補助金 H28～

1,500 千円

特産品開発、販路開拓等に要する経費に対する補助

- ▶ 新製品開発、パンフレット等のデザイン 補助率2/3以内、限度額：100万円
- ▶ 販路拡大のための経費、イベント費用等 補助率1/2以内、限度額：50万円

8 アルコ236整備事業

6,280 千円

客室・ロビー等のWi-Fi設備更新、プレハブ冷蔵庫の更新

6 企業開発促進補助金 S61～

25,142 千円

事業場の新增設に伴う固定資産税相当額と投資額(土地代を除く)の10%(工業団地以外は5%)を補助

- ▶ 限度額：1億円

10 工業団地取得資金貸付事業 S61～ 35,554 千円

工業団地取得に対する貸付金

11 雇用対策事業 9,791 千円

- ▶ 若年者緊急雇用対策事業 H15～
 - ・ 学校卒業後3年以内の若年層を雇用（6カ月間・4名分）
- ▶ 季節労働者雇用対策事業 H20～
 - ・ 街路清掃、除排雪等の町道環境整備、公共施設清掃



暮らしやすいまちづくり

定住施策の充実

【予算額：838,084 千円】

1 マイホーム応援事業 H27～ 30,000 千円

町内全域を対象に、新築住宅の建設、購入又は中古住宅の購入に要する費用の一部を補助

- ▶ 住宅を新築または購入する場合 30万円
- ▶ 中古住宅を購入する場合 20万円
- ▶ 加算額
 - ・ 幕別市街及び忠類市街に新築または購入する場合 80万円
 - ・ 町内業者で住宅を新築する場合または町内業者から住宅を購入する場合 50万円
 - ・ 実績報告時において同居する18歳未満の申請者の子がいた場合
2人目まで1人当たり10万円、3人目以降一人当たり30万円

2 結婚新生活支援事業 R1～ 3,900 千円

夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得が400万円未満（世帯年収約550万円未満に相当）の新婚世帯に対して、結婚に伴う新居の家賃及び引越費用等の一部を補助（1世帯当たり補助上限額30万円）

- ◎ 令和5年度から夫婦ともに29歳以下の場合は、補助上限額が1世帯当たり30万円から60万円へ引き上げ

3 U I J ターン新規就業支援事業 R2~ 1,300 千円

東京圏から就業に伴う町内への移住者の取り込みを図るため、次の要件を満たした移住者に対して、移住支援金（世帯：100万円（18歳未満の帯同世帯員1人につき30万円加算）、単身60万円）を交付

- ▶ 5年以上東京23区に在住または東京圏に在住し東京23区に通勤していた方
- ▶ 北海道が開設するマッチングサイトに掲載している求人先に就職した方、移住前の業務を引き続きテレワーク等で行う方、一定の要件を満たして起業した方

4 公営住宅建設事業 R1~ 776,619 千円

あかしや南団地建替工事（建設工事（2棟16戸）、外構工事など）
泉町団地改善実施設計事業（4棟126戸）

5 男女共同参画推進事業 R6~ 74 千円

男女共同参画社会の実現に向けて、基本理念をはじめ町の施策の基本となる事項を定める男女共同参画基本計画を令和6年度に策定、合わせてパートナーシップ制度を導入し、多様性を認め合い、誰もが社会の対等な構成員として活躍することのできる地域社会を実現

6 忠類地域魅力発信事業 H27~ 【再掲 P5】 1,400 千円

7 地域おこし協力隊活動推進事業 H30~ 【再掲 P5】 **拡充** 24,791 千円

子どもを産み育てられる環境の充実

【予算額：220,913 千円】

1 不妊治療費助成事業 H18~ 6,722 千円

不妊治療の保険適用に伴い、自己負担額の一部を助成

- ▶ 一般不妊治療 H28~
 - ・ 人工授精などの治療費に対して、5万円/年を上限に助成
- ▶ 特定不妊治療 H18~
 - ・ 生殖補助医療の治療費に対して、15万円/回を上限に助成
 - ・ 男性不妊治療の治療費に対して、7.5万円/回を上限に助成
- ▶ 先進医療治療費 R5~
 - ・ 先進不妊医療の治療費に対して、3.5万円/回を上限に助成

2 妊婦健診費助成事業 H18～ 1,485 千円

妊婦健康診査に要する費用に対して、1人当たり2万円を上限に助成

3 産前産後サポート事業 H30～ 375 千円

妊産婦に対して、孤立感を軽減することを目的に、助産師、保健師、管理栄養士によるデイサービス（参加）型の相談支援を実施



4 1か月児健康診査実施事業 R6～ **新規** 552 千円

1か月児の身体発育状況や栄養状態、身体の異常の早期発見、こどもの健康状態や育児の相談などを行う健康診査の受診に対して、健康診査に係る費用を助成

▶ 令和6年10月から、北海道の協定による単価4,000円を上限に助成

5 新生児聴覚検査実施事業 R7～ **新規** 787 千円

概ね生後3日以内に新生児の音に対する反応を検査し、耳の聞こえの異常を早期に発見することを目的とした検査に係る費用を助成

▶ 令和7年度から北海道の協定に参加する医療機関が定める金額を助成



6 産婦健診費助成事業 H29～ 780 千円

産婦健康診査に要する費用に対して、1回当たり5万円を上限に助成

※ 協定外の検査費用は、1回当たり4,000円、2回を上限に助成

7 妊婦のための支援給付金給付事業 R4～ 13,585 千円

全ての妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠時から出産・子育てまで妊婦支援給付金（妊婦給付認定後（5万円）と出産時等（胎児の数×5万円））による経済支援と伴走型相談支援を組み合わせ実施

※令和6年度まで～出産応援給付金（5万円）と子育て応援給付金（5万円）の給付

8 産後ケア事業 H29～ **拡充** 1,674 千円

出産後の母子に対して、心身のケアや育児のサポートを行うことを目的とした助産師による戸別訪問とデイサービス型として、授乳及び育児に関わる相談、産婦の休養等に係る支援を実施

- ▶ 産後ケアを希望するすべての母子を対象を拡大（令和5年10月から拡充）
- ▶ 幕別町外（十勝管内）で産後ケアを受ける母子の利用料を助成（令和6年4月から拡充）
- ▶ 幕別町外（十勝管内）で産後ケアを受ける母子の交通費を助成（令和7年4月から拡充）
- ▶ 幕別町外（十勝管外）で産後ケアを受ける母子の利用料と交通費を助成（令和7年4月から拡充）

9 子ども医療費助成事業 S47～ 118,013 千円

子育て世帯の経済的負担の軽減及び重症化予防のために、子どもへの医療費の助成を行う

- ▶ 中学生の入院及び通院費を助成（平成27年10月から拡充）
- ▶ 高校生世代の入院及び通院費を助成（令和5年10月から拡充）

10 3歳以上児主食提供事業 H28～ 4,475 千円

3歳以上の保育所（認定子ども園を含む。以下同じ）・幼稚園入所児童が、温かいまま食べることができる主食（米食）を提供することで、子育て世帯への経済的・身体負担の軽減を図る



11 認可外保育施設保育料助成事業 R1～ 1,100 千円

入所定員の超過等により、町内の認可保育所を利用することができず、認可外保育施設を利用する保護者に対して、認可外保育施設の保育料と認可保育所に入所した場合の保育料差額を助成

12 ファミリー・サポート・センター事業 H28～ 951 千円

育児の援助を必要とする人と育児の援助ができる人の仲介・調整を実施

13 家庭的保育事業 R4~ 16,279 千円

0歳児から2歳児を対象に、家庭的な雰囲気のもとで少人数（定員5人以下）に対して保育を行う家庭的保育事業所に給付を行う

14 マイファーストブックサポート事業 H15~ **拡充** 1,000 千円

乳幼児健診時に図書館司書による絵本の読み聞かせを行い、絵本を絵本バッグに入れてプレゼントすることに加え、エコ・食育をテーマにしたオリジナル絵本を新小学1年生にプレゼント

- ▶ 令和7年度は、エア・ウォーター北海道株式会社のふるさと応援H（英知）プログラムを活用し、地球環境に配慮した素材のバッグ作成、環境・ウェルネスに関する本の貸し出し、自然・エコをテーマにした絵本作家によるワークショップなどを実施
- ▶ 絵本を入れるバックは引き続き、既製品のバックに中札内高等養護学校幕別分校生徒がシルクスクリーンにより印刷

15 学校給食材料費支援 R3~ 9,021 千円

学校給食費の改定による保護者負担増を軽減するため、給食費の一部を支援

- ▶ 小学校給食費62,858千円に対して、5,697千円を支援（1食当たり22円軽減）
- ▶ 中学校給食費43,113千円に対して、3,236千円を支援（1食当たり22円軽減）
- ▶ 保育所給食費 3,571千円に対して、88千円を支援（1食当たり5円軽減）

16 発達支援センターの機能充実 R4~ 22,086 千円

発達支援センターで行う療育を事業化し、専門職（心理士、作業療法士）の人員を配置することにより相談・検査・療育の質及び量を確保

- ▶ 令和6年度から、ふれあいセンター福寿内に忠類分室を開設し、忠類・駒島地区における乳幼児期から学齢期までの連続した発達支援体制を拡充

17 幕別認定こども園整備事業 **新規** 21,703 千円

幕別認定こども園の新園舎として、旧わかば幼稚園園舎を改修、保育所機能部分となる未満児用の保育室・調理室などを増築し施設を整備

- ▶ 実施設計委託
- ▶ 旧わかば幼稚園物置等解体工事

18 森の輪（wakko）製作委託料
（森林環境譲与税基金活用事業） R2~ **【再掲 P3】** 325 千円

1 国保・後期ヘルスアップ事業 11,924千円
 (医療費適正化事業) R3~

レセプト、健診結果等を分析し、生活習慣病重症化予防や服薬管理の個別指導を実施
 ▶ 糖尿病重症化予防事業、服薬情報通知事業、特定健診受診勧奨通知事業

2 骨粗しょう症検診事業 R7~ **新規** 126千円

自覚症状があまりなく、特に女性に多い疾病である骨粗しょう症を早期に発見し、将来的な医療費や介護給付費の抑制・町民の生活の質の向上を目的として検診を実施

3 歯科健診事業 **拡充** 186千円

令和6年度までは20歳以上を対象としていた歯科健診を、令和7年度から18歳以上に拡充して実施し、高等学校卒業後も切れ目のない口腔ケアを実施

4 中等度難聴者補聴器購入費助成事業 R7~ **新規** 3,000千円

中等度の難聴者に対し補聴器購入費の一部を助成することで、積極的な社会参加、地域交流の促進、認知症の予防を図る
 ▶ 40歳以上の町民を対象、補聴器購入費の1/2(片耳上限5万円)を助成

5 带状疱疹ワクチン接種事業 R7~ **新規** 12,134千円

65歳以上(5歳刻み)の高齢者を対象に、带状疱疹ワクチン接種費用の約1/2を助成
 ▶ 生ワクチン 自己負担：4,400円、町負担：4,460円
 ▶ 乾燥組換えワクチン 自己負担：22,000円、町負担：22,120円

6 新型コロナワクチン接種事業 R6~ 10,414千円

65歳以上の高齢者を対象に、新型コロナワクチン接種費用の約7割を助成
 ▶ 自己負担：4,600円、町負担：11,000円

7 食の自立支援サービス事業 H11~ 7,126千円

調理が困難なひとり暮らしの高齢者の方に栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否を確認

8 外出支援サービス事業 H4~ **拡充** 13,690 千円

高齢者や障がい者の方を対象とした移送車両による外出支援サービスを実施

- ▶ 令和7年度から、利用回数を「2か月に5回」から「1か月に3回（2か月に6回）」へ拡充

9 医療・介護多職種連携システム事業 R4~ 257 千円

在宅医療・介護における、医療・介護等の多職種連携のための情報共有システム。多職種が同時に、速やかに情報を共有でき、医師の指示や医療介護サービスの変更など、より迅速で適切な患者対応に繋げる

10 フレイル予防事業 R2~ 3,460 千円

運動や認知機能改善を目的としたフレイル予防教室に、口腔ケアやリハビリの専門職を招き多角的に介入することで、加齢により心身が衰える状態を予防



11 認知症カフェ活動運営助成金 H30~ 48 千円

認知症の人やその家族が保健師等と情報を共有し、お互いを理解する場である「認知症カフェ」の設置を推進することを目的に、運営主体に対して運営費の一部を助成

- ▶ 開催1回当たり1,000円（同一年度内に12回まで）を上限に助成

12 生活支援体制整備事業 H29~ 6,750 千円

地域における介護予防や生活支援サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進することを目的に、地域に必要とされるサービスの創出等の資源開発、関係者間の情報共有等のネットワーク構築、地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチングを実施

13 基幹相談支援センター機能強化事業 H26~ 9,460 千円

町内の相談支援事業所に対して、社会福祉士や相談支援専門員などの専門職による指導・助言、情報収集・提供、人材育成などの支援により、相談支援機能の強化を図る

14 ひきこもり対策推進事業 R3~ 14,094 千円

社会福祉協議会と連携し、ひきこもり状態にある本人や家族等を支援することにより、本人の自立を促進し、本人及び家族等の福祉の増進を図る

15 成年後見実施機関運営事業 H27~ 拡充 2,872 千円

社会福祉協議会に委託して運営する成年後見実施機関に中核機関の機能を付け加え、権利擁護支援を必要とする方に迅速に適切な支援を繋げるよう地域連携ネットワークのコーディネート等を実施

16 コミュニティバス運行事業 H25~ 15,140 千円

コミュニティバス幕別線・札内線に係る運行費を補助



17 予約型乗合タクシー運行事業 H26~ 5,631 千円

予約型乗合タクシー駒畠線・古舞線に係る運行費を補助

18 福祉除雪事業 R6~ 578 千円

高齢や障がい等の理由で自ら除雪を行うことが困難な低所得世帯（除雪困難世帯）に対して、外出時に支障となる玄関から公道までの除雪を行うことで日常生活の利便性を図り、緊急時の通路を確保

19 ふれあいセンター福寿改修工事 R7~ 拡充 11,187 千円

ふれあいセンター福寿の高圧受電設備、特殊浴室排煙窓、浴槽ろ過装置紫外線殺菌装置の更新工事を実施



安心・安全なまちづくり

町民の生命と財産を守るまちづくり

【予算額：1,660,974千円】

1 災害用備蓄品整備事業 H27～ 3,692千円

幕別町防災備蓄計画（R2～R11）に基づき、備蓄品を整備

- ▶ アルファ米2,500食、缶詰パン1,440食、粉ミルク20箱、液体ミルク100本など

2 防災マネージャーの配置 R2～ 5,947千円

防災・危機管理に対する専門知識や実務経験を身に付けた地域防災マネージャーの資格を有する者を防災専門の職員として配置し、出前講座の実施や防災訓練の企画・運営、自主防災組織の設立支援の業務を行う



3 登録制メールによる災害・避難情報の発信 H25～ 660千円

緊急地震速報、災害・避難情報の該当エリアへの緊急情報の配信

- ▶ 平成31年1月から町公式SNSを運用し、防災情報等を発信
- ▶ 令和3年4月からLINE連携による運用開始



4 防犯灯LED化事業 H29～ 47,525千円

電気料金及び二酸化炭素排出量の削減を目的に、町内全域の防犯灯をLED化（リース費用）

- ▶ 平成29年度から3カ年で全4,213灯の防犯灯をLED化

5 公共施設LED化事業 R6～ **新規** 57,246千円

ゼロカーボンロードマップに基づき公共施設の省エネ化を図る

- ▶ 令和6年度 避難所（学校など）
- ▶ 令和7年度 避難所（学校など）
- ▶ 令和8年度～ 公園ほか

6 ゼロカーボン推進総合交付金 R6~ 【再掲 P4】 39,740 千円

7 町道除排雪 254,338 千円

町道の除排雪に係る管理委託料、除雪等委託料、除排雪機械借上料

8 町道整備事業 977,056 千円

(※令和6年度補正繰越分：38,787千円含む)

▶ 新規：4路線、継続：10路線

※道路整備工事（新規：2、継続：7）、舗装補修工事（新規：2、継続：3）

9 橋梁長寿命化修繕事業 154,440 千円

(※令和6年度補正繰越分：30,465千円含む)

橋梁定期点検業務（42橋）、橋梁補修工事調査設計業務（新生橋、宮下橋、第2ポプラ橋）、橋梁補修工事（南勢橋、すみれ橋、錦橋、幌内7号橋、幌内12号橋）

10 都市公園安全・安心対策事業 4,120 千円

都市公園等長寿命化対策工事（スマイルパーク）

都市公園安全・安心対策工事（ほのぼの公園、札内北公園、のぞみ公園）

11 インフラ管理DX推進事業 **新規** 10,791 千円

公開型GIS（R7.3.1運用開始）及び除雪管理システム（R7.1.1運用開始）を導入することで道路管理業務の高度化、効率化を図るとともに、リアルタイムの情報やオープンデータを住民に提供することで住民サービスの向上を図る

12 パークゴルフ場トイレ改修事業 1,837 千円

老朽化したパークゴルフ場のトイレを改修することで利用者の利便性向上を図る（糠内公園やまびこコース）

13 消防用自動車更新整備事業 R7~ **新規** 82,233 千円

忠類支署に配備する水槽容量6,500ℓのタンク車1台を更新

▶ 災害対応能力の向上を図るとともに、高機能の車両及び資機材の導入により多種多様化する各種災害に迅速かつ確実に対応

14	消防庁舎用ボイラー設備更新事業 R7～	新規	21,043 千円
幕別消防署札内支署庁舎用ボイラー設備のボイラー2基を更新			

持続可能な行財政の確立

【予算額：44,089 千円】

1	議会ICT化（タブレット端末導入）事業 R6～		2,036 千円
議会議員に1人1台のタブレット端末を導入し、調査研究活動、会議に関する各種資料の取得や会議録の閲覧、議員と議会事務局間での情報及び各種連絡文書等の送受信、スケジュールの共有に活用			

2	生成AI導入事業 R6～		1,188 千円
生成AIを導入し、政策立案や文書作成の用途で活用することで、業務効率化を進める 令和6年3月：生成AI利用ガイドラインの策定、4月～：試験運用、7月～：本格運用			

3	行政ポイント付与事業 R5～		40,865 千円
住民の行政活動への参加と町内経済の循環を促進することを目的として、令和5年8月から行政ポイント制度を導入～まくPayポイントとして付与			
・主な行政ポイント付与対象内容（1P＝1円換算）			
転入者 1,000P、各種健康講座への参加 50P			
認知症サポーター養成講座への参加 100Pなど			
▶ ゼロカーボン推進総合補助金～まくpayポイントとして付与			





元気な教育・文化・スポーツのまちづくり

次代を担う子どもの育成

【予算額：177,647千円】

1 修学支援資金交付事業 S45～(現行:H27～) **拡充** 2,244千円

町内に保護者または高校生等が在住している場合に課税世帯でかつ世帯収入が生活保護対比1.3倍未満の世帯に対し支援金を給付

- ▶ 令和7年3月に北海道の制度と給付単価が同額になるよう条例改正予定

2 修学旅行費支援事業補助金 H29～ 7,560千円

町内中学校に在籍する生徒の修学旅行に要する費用の2分の1を補助(上限額:3.5万円/人)

- ▶ 特別支援教育奨励費補助対象者は、その補助金で受給した額を控除した2分の1を補助

3 学校運営協議会運営事業 (小中一貫教育の推進) H29～ 1,439千円

開かれた学校づくり及び小中一貫教育の推進のため、学校運営協議会委員への報酬、費用弁償、また各学園の特色を生かした小中一貫教育の推進のための交付金を支出

- ▶ 消耗品等の購入に要する費用に対して補助
- ▶ 学校教育目標や学校経営計画などの基本的な方針等を熟議するための学校運営協議会における委員報酬及び費用弁償

4 子どもカウンセラーの配置 H11～ 8,479千円

不登校、いじめ、児童虐待、子育て、生徒指導など多様化する相談対応のため、子どもカウンセラー(相談員)を3名配置

5 特別支援教育支援員の配置 H20～ 127,958千円

学校において個別の支援を必要とする児童生徒の生活支援・学習支援を実施するため、特別支援教育支援員を配置

- ▶ 小学校36名、中学校7名の計43名を配置

6 臨時英語指導助手の配置 H30～ 4,347千円

生きた外国語に触れる機会の充実を図るため、小学校3年生から6年生の全ての外国語授業等で、国際交流員または臨時英語指導助手を配置

7 授業支援ソフトの導入 R7~ 新規 3,903 千円

主体的・対話的で深い学びの実現、個別最適化学習の実現を図るため、授業中の教材や宿題等として児童生徒に貸与している学習用端末に授業支援ソフトを導入

8 小学生国内交流事業 2,684 千円

- ▶ 埼玉県上尾市 S50~ ▶ 神奈川県開成町 H27~ ▶ 高知県中土佐町 H27~
※ 令和7年度は上尾市へ派遣し、開成町、中土佐町からの受入れを実施

9 中学生・高校生海外研修事業 8,677 千円

オーストラリアの大自然、外国の生活や文化、教育などに触れる機会を提供することで語学や国際社会に貢献できる人材を育成するため、引き続き海外研修事業を実施

- ▶ オーストラリア、メルローズハイスクールとの相互交流
※ 令和7年度は中学生15名、高校生3名を派遣

10 魅力ある高校づくり支援事業 S62~ 10,356 千円

魅力ある高校づくりを支援するため、幕別清陵高等学校及び中札内高等養護学校幕別分校に対して補助金を交付

◎令和7年度に実施する主な事業（幕別清陵高等学校）

- ▶ 特色ある学習支援事業
- キャリア教育の推進
 - ① キャリア形成（学習支援システム利用料の一部補助）
 - ② キャリアアップ（各種模擬試験や資格検定費用の一部補助）
 - 先端教育の推進
 - ① 地域連携探求学習の推進（地域連携マイプロジェクトへの支援、地域連携コーディネーター活動経費）
 - ② 生徒個々の能力と個性を伸ばす個別最適な教育の推進（専門機関等からの講師招聘、体験学習に要する費用の補助）
 - ▶ いきいき部活動支援事業
 - 部活動への大会参加費用及び遠征費用の補助、用具購入等の支援



1 図書館を核とした地域づくり事業 H30～ 543千円

図書館を核とし、図書館運営をサポートする人材の育成と健康寿命を延伸するための取組を実施することで、地域が抱えている課題を解決するための地域住民の活動の場を創出

- ▶ ARアプリ「マチアルキ」により、地域情報や郷土の史跡などAR（拡張現実）を通じて図書資料等と紐付けする



2 マイファーストブックサポート事業 H15～ 1,000千円
【再掲 P10】 拡充

3 アスリートと創るオリンピックの町創生事業 H30～ 2,120千円

1 スポーツ合宿・大会誘致及び受入体制の強化

- ▶ 慶應義塾体育会野球部の合宿誘致

【継続】：700千円

慶應義塾体育会野球部の合宿の受入調整、地域との交流活動を行いながら、交流人口の拡大や地域のPRなどを行う

2 運動・スポーツを支える人材の育成

- ▶ 運動・スポーツを支えるための講演会

【継続】：200千円

スポーツを行う子どもたちとの接し方、スポーツを続ける環境づくりのサポートを目的とした保護者や関係者向けの講演会を実施

3 応援大使やアスリートを活用した運動・スポーツの機会創出

- ▶ アスリートふれあい事業【継続】：1,220千円

幕別町応援大使や第一線で活躍するアスリートが町内小中学校への訪問や、スポーツイベントを通じて児童・生徒、地域住民と交流することで町内出身のアスリートやスポーツへの興味・関心を持ってもらう



1 化石発掘調査研究事業 R1～

2,473千円

令和6年度はナウマンゾウ化石の再発見を目指して発掘調査を実施し、54年ぶりに化石の発見（頭骨の一部）ができたことから、令和7年度は未発掘エリアを重点的に調査して、更なる化石の発見を目指すとともに、かぼちゃプロジェクトや発掘調査報告会等を実施する



2 アイヌ文化拠点空間整備事業 R4～R8

1,552,784千円

アイヌ文化の拠点となる多機能型交流施設（生活館棟、展示館棟）の整備

▶ 令和7年度に実施する事業

- 生活館棟（屋根及び内部）、外構の整備に係る工事
- 展示館棟、宝物堂等に係る工事



3 アイヌ文化振興事業 R4~

7,356 千円

伝統的なアイヌ文化や生活の場を整え、各種講座によるアイヌの歴史や文化の普及促進、公営塾の実施による学習支援等を行う事業

- アイヌ文化伝承活動支援事業：チセの建設演習、チカラカラペ作成技術伝承等
- アイヌ文化普及啓発事業：アイヌ文化体験講座、アイヌ語講座の開催等
- アイヌ文化情報発信事業：巡回展、首都圏PR等
- アイヌ文化学習推進事業：アイヌ語・英語公営塾（小学生対象）等

